

水無川導流堤

着工から完成まで

国土交通省九州地方整備局 雲仙復興工事事務所

H13.3.5撮影

水無川における砂防事業の今までの経緯



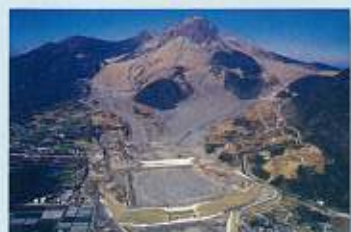
(S61.10.24)



(H5.12.8)



(H6.10.28)



(H12.2.21)

1990年 (H2) 11月17日 雲仙・普賢岳 198年ぶりに噴火

1991年 (H3) 6月3日 大規模火砕流発生(死者40名、行方不明者3名の大惨事)
6月8日 6月3日上回る大規模火砕流発生(人的被害なし)
6月30日 大規模土石流発生(海岸線まで到達)
9月15日 大規模火砕流発生(大野木場小学校焼失)

1992年 (H4) 2月22日 長崎県「水無川砂防計画の基本構想」の中で導流堤の計画を発表
3月24日 水無川1号遊砂地着工
4月13日 水無川2号遊砂地着工
5月10日 水無川1号遊砂地完成
5月27日 水無川2号遊砂地完成

1993年 (H5) 1月10日 水無川3号遊砂地着工
2月25日 水無川3号遊砂地完成
4月6日 建設省雲仙復興工事事務所開所
6月8日 仮設導流堤着工
6月18日 最大規模土石流発生
7月19日 大規模火砕流発生(国道57号下流約100mまで到達)

1994年 (H6) 9月9日 仮設導流堤完成
10月1日 本設導流堤着工

1995年 (H7) 5月25日 火山噴火予知連絡会「マグマの供給と噴火活動は、ほぼ停止状態にある」との統一見解を発表
9月30日 水無川1号砂防堰堤着工

1997年 (H9) 3月8日 水無川2号砂防堰堤着工

1998年 (H10) 2月19日 水無川1号砂防堰堤完成

1999年 (H11) 3月16日 国道57号水無大橋開通

2000年 (H12) 2月29日 国道251号安徳大橋開通
3月26日 水無川2号砂防堰堤完成

2001年 (H13) 2月26日 広域農道安中橋開通
3月20日 水無川導流堤完成

雲仙・普賢岳が平成2年11月17日に噴火を開始してから、平成13年までに発生した火砕流は9432回、土石流は62回にもものぼります。

現在では落ち着いた状態を保っている雲仙・普賢岳ですが、山麓周辺には、未だ約1億7千万m³(福岡ドーム約100杯分)もの火砕流堆積物が不安定な状態で存在し、豪雨の際には、土石流が発生しています。

導流堤等の整備を核にして復興の進む水無川周辺

整備前

(H5.9.6撮影)



土石流が最も頻発した年の水無川流域の状況です。大量の土砂が雲仙・普賢岳から流出し、水無川流域一帯にあふれています。

整備後

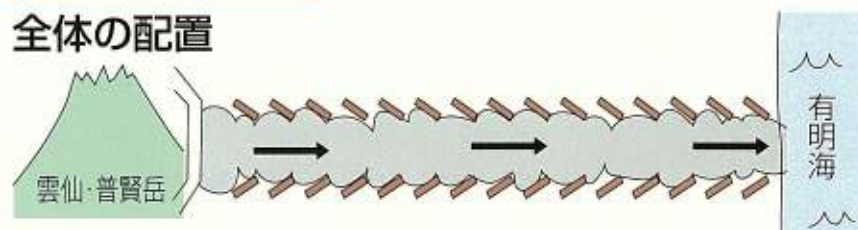
(H12.10.14撮影)



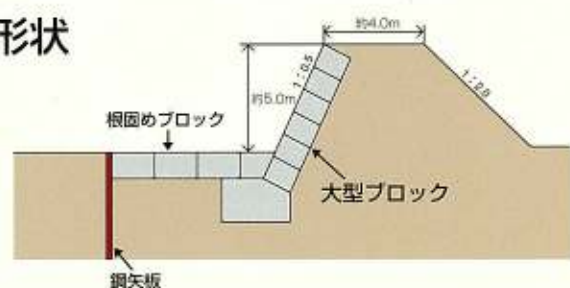
水無川1号、2号砂防堰堤につづき、水無川導流堤の完成により地域の安全性は向上しています。

土石流災害から水無川下流の住民の人命、財産を守るため、導流堤を建設します。

全体の配置



導流堤の形状

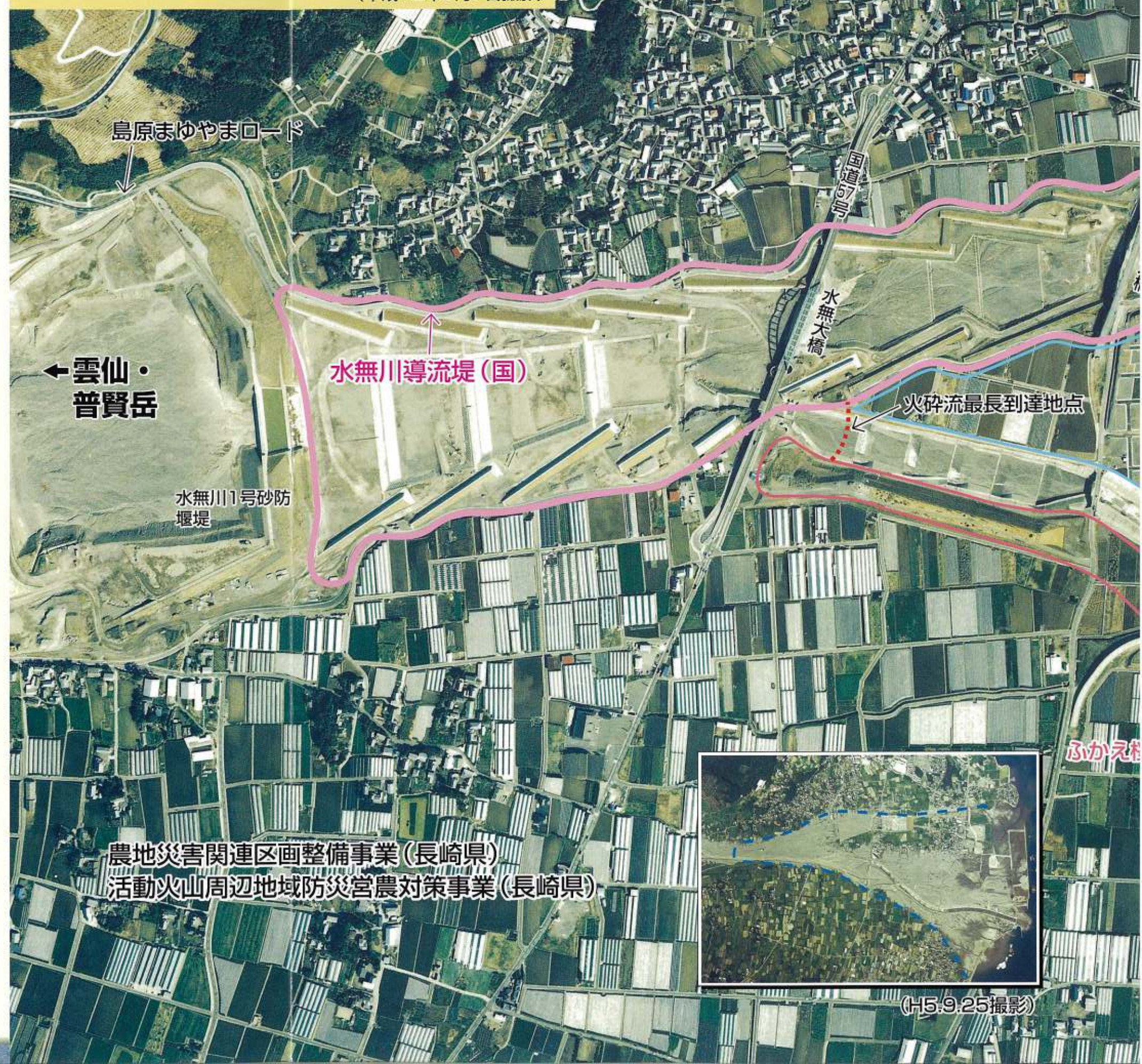


導流堤の諸元

全体	30基	約5200m	
高さ	約5m		
長さ	平均約170m/基		
厚さ	下流から (片側)	1～7番目	0.5m
		8～10番目	1.0m
		11～15番目	1.5m

	工事費
仮設導流堤	約9億円
本設導流堤	約52億円
合計	約61億円

(平成12年3月7日撮影)



(H5.9.25撮影)

周辺の復興状況

(平成12年3月7日撮影)



島原市

島原深江道路

国道2号

安徳大橋

島原復興ア

われん川環境整備事業
(住民・島原市・長崎県・国)

水無川導流堤(国)

火砕流最長到達地点

水無大橋

安中大橋

広域農道

島原鉄道

安中三角地帯高上事業(島原市)

ふかえ桜パーク整備事業(深江町)

水無川

道の駅
みずなし本陣ふかえ

深江町

河整備事業(長崎県)
防災営農対策事業(長崎県)



(H5.9.25撮影)



導流堤の施工順序

① 仮設導流堤建設



土石流が頻発し氾濫をくり返す中で、少しでも被害を軽減させるため、緊急的に仮設導流堤の建設に着手し総延長約4,900mをわずか約1年3ヶ月でつくり上げました。

② 本設導流堤の建設



仮設導流堤で地域や作業の安全を確保しながら、仮設導流堤に比べて頑丈な本設導流堤の建設に着手しました。

③ 修景盛土



土石流が導流堤内を流下する際に障害とならない範囲で、周辺の景観との調和を図り、導流堤の前面に盛土し、植栽します。

砂防指定地の利活用による地域の活性化

雲仙・普賢岳砂防指定地利活用構想

導流堤や砂防堰堤が建設されている砂防指定地の利活用の将来あるべき方向性を示すもので、水無川及び中尾川流域を17ゾーンに分け利活用方針を定めています。

砂防指定地の利活用状況

《雲仙・普賢岳フェスティバル》



多くの方々に水無川周辺の復興状況を見ていただき、全国に復興情報を発信するため、住民の皆様と一体となって平成9年より毎年11月に開催しています。フェスティバルでは、導流堤内の広場でのじげもん市（地元特産品の販売）、綱引き大会、魚のつかみ取りなどの各様アトラクションの他、水無川周辺の主な復興箇所を歩いてめぐる雲仙・普賢岳ウォッチングなどが行われています。

《植樹祭》



平成12年11月18日、安中まちづくり推進協議会により、噴火10年の復興を記念とした植樹祭が行われました。義援金送付者が全国から招待され、参加者は約1000人にもものぼり、お年寄りから子ども達まで皆で一緒になって汗をかきながら、約二万本の苗木を導流堤前の盛土に植えました。

《われん川整備事業》



導流堤内に普賢さんからの恵みである清水が湧いている箇所があります。われん川と呼ばれ、昔から安中地区の生活に欠かせない川として愛されてきました。今回の土石流災害により周辺は一変しましたが、湧水箇所は土砂で埋まったものの生き残りました。住民の皆様からの「われん川の再生」についての強い要望にもとづき、計画から川づくりまで住民と行政が一体となって進めてきました。平成12年11月18日に「ふるさとの泉」工区が完成し、今後はその下流の「散策の水辺」や「海との出会い」工区の川づくりを住民の皆様と進めていきます。



ご意見をおよせください
国土交通省九州地方整備局
雲仙復興工事事務所砂防課

〒855-0866 長崎県島原市南下川尻町7番地4
電話 (0957) 64-4171 (代表)
FAX (0957) 64-4127

ホームページアドレス: <http://www.qsr.mlit.go.jp/unzen/>
e-mailアドレス: unzen@qsr.mlit.go.jp

